

穂木の準備

斜めに角度をつけて削る



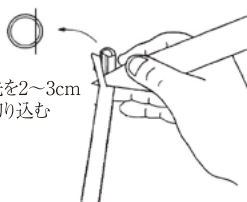
2芽程度で切る



浅くそぐように削る

台木の準備

先を2~3cm切り込む



穂木を差し込む

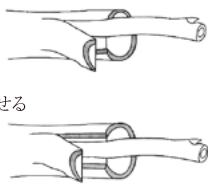


テープでしっかり固定する



太さが異なる場合は、片方の形成層を合わせる

×



温度変化が少なく直射日光の当たらない土中などに保存する。

接ぎ木の方法と時期(図1、2)

接ぎ方は、枝の太さにより使い分ける。側枝などの細い枝には「切り接ぎ」、主枝や亜主枝などの太い枝には「はぎ接ぎ」を行う。

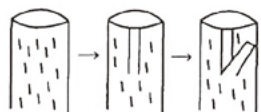
切り接ぎ

実施時期は、発芽期から展葉期にあたる、三月中旬から四月下旬ごろとなり、台となる更新樹の芽が動き始めたころが適期である。

更新樹の芽が動く前に接いでしまうと活着がわるくなるため、注意す

図1 切り接ぎの方法(「農業技術体系」より一部抜粋)

台木(更新樹)の準備



形成層まで切り込む

穂木の挿入と結束



接ぎ木をしたら接ぎ木用テープなどで巻く

る。

はぎ接ぎ

実施時期は、樹液が流動し、形成層の部分から皮が剥げるようになる、四月下旬から五月上旬ごろが適期となる。

接ぎ木位置は、主枝・亜主枝の発

図2 はぎ接ぎの方法